



2023年9月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年11月10日

上場会社名 OBARA GROUP株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6877 URL <http://www.obara-g.com/>
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 小原 康嗣
 問合せ先責任者 (役職名) 経営企画室長 (氏名) 飯高 成美 (TEL) 046-271-2124
 定時株主総会開催予定日 2023年12月19日 配当支払開始予定日 2023年12月20日
 有価証券報告書提出予定日 2023年12月20日
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2023年9月期の連結業績(2022年10月1日～2023年9月30日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年9月期	55,209	9.8	9,014	6.1	9,683	0.3	7,211	16.4
2022年9月期	50,282	10.6	8,497	16.1	9,657	20.2	6,197	3.4

(注) 包括利益 2023年9月期 8,261百万円(△33.1%) 2022年9月期 12,346百万円(34.3%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2023年9月期	449.27	435.54	10.5	10.4	16.3
2022年9月期	393.20	346.81	10.5	11.3	16.9

(参考) 持分法投資損益 2023年9月期 ー百万円 2022年9月期 ー百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年9月期	94,623	74,111	78.2	4,276.53
2022年9月期	92,347	63,656	68.9	4,044.48

(参考) 自己資本 2023年9月期 74,035百万円 2022年9月期 63,586百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2023年9月期	5,305	5,130	△2,600	34,697
2022年9月期	6,656	68	△3,033	26,401

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2022年9月期	—	40.00	—	90.00	130.00	2,043	33.1	3.5
2023年9月期	—	60.00	—	90.00	150.00	2,501	33.4	3.6
2024年9月期(予想)	—	60.00	—	90.00	150.00		39.3	

3. 2024年9月期の連結業績予想(2023年10月1日～2024年9月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	26,800	△9.1	4,350	△21.4	4,600	△19.0	3,100	△22.1	179.06
通期	54,500	△1.3	9,000	△0.2	9,600	△0.9	6,600	△8.5	381.23

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
 新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
 ② 期末自己株式数
 ③ 期中平均株式数

2023年9月期	20,869,380株	2022年9月期	20,869,380株
2023年9月期	3,557,298株	2022年9月期	5,147,529株
2023年9月期	16,051,835株	2022年9月期	15,761,355株

(参考) 個別業績の概要

2023年9月期の個別業績（2022年10月1日～2023年9月30日）

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年9月期	13,939	180.2	13,321	203.0	13,313	197.0	12,387	188.0
2022年9月期	4,974	△22.7	4,395	△25.5	4,481	△23.8	4,301	△23.8

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2023年9月期	771.74	748.47
2022年9月期	272.93	240.58

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年9月期	33,784	28,394	84.0	1,640.14
2022年9月期	25,473	13,699	53.8	871.35

(参考) 自己資本 2023年9月期 28,394百万円 2022年9月期 13,699百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社グループが現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 経営成績等の概況 (4) 今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	3
(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当	4
2. 企業集団の状況	4
3. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	5
4. 連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 連結貸借対照表	6
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	8
(3) 連結株主資本等変動計算書	10
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	13
(継続企業の前提に関する注記)	13
(セグメント情報等)	13
(1株当たり情報)	16
(重要な後発事象)	16
5. その他	17
(1) 生産、受注及び販売の状況	17
(2) 地域別販売状況	17

1. 経営成績等の概況

文中の将来に関する事項は、当連結会計年度末現在において、当社グループが判断したものであります。

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度(2022年10月1日～2023年9月30日)における世界経済は、新型コロナウイルス感染症による景気後退への底入れ感が強まり、総体的には緩やかな回復基調となりました。

我が国経済につきましては、生産活動が底堅く推移し、個人消費や設備投資に持ち直しが見られるなど、景気に回復の動きが見られました。

このような状況の下、当社グループと深く関わる自動車業界につきましては、世界各地で電動化対応を含め前向きな設備投資姿勢が継続しました。

一方、同じく当社グループと深く関わるエレクトロニクス業界では、半導体メモリー等の市況軟化が見られる中、半導体デバイス向け設備投資計画に調整的な動きも見られました。

当社グループは、このような経営環境に対応するため、各市場動向に応じ、設備品及び消耗品の拡販に努め、ローカルニーズに対応した製品投入を進めるとともに、技術革新・次世代装置などの高付加価値製品の開発にも注力してまいりました。

以上の結果、当連結会計年度の業績は、売上高552億9百万円(前期比9.8%増)、営業利益90億14百万円(前期比6.1%増)、経常利益96億83百万円(前期比0.3%増)、親会社株主に帰属する当期純利益は、投資有価証券の売却に伴う特別利益3億40百万円を計上したことなどにより、72億11百万円(前期比16.4%増)となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。なお、各セグメント別の売上高は、セグメント間の内部売上高又は振替高を含む数値を記載しております。

溶接機器関連事業

溶接機器関連事業につきましては、取引先である自動車業界において、世界各地で堅調な生産活動が行われ、車体組立分野の継続的な設備投資が見られました。

このような環境の下、当部門として設備品及び消耗品の拡販を図ったことなどにより、業績は堅調に推移しました。

この結果、部門売上高は307億56百万円(前期比0.9%増)、部門営業利益は50億51百万円(前期比2.8%増)となりました。

平面研磨装置関連事業

平面研磨装置関連事業につきましては、高度半導体デバイスにおける用途の多様化などを背景とし、取引先であるエレクトロニクス関連素材において、安定的な生産活動や設備投資が続きました。

このような環境の下、当部門として顧客要求に適合した製品の販売促進に努めたことなどにより、業績は堅調に推移しました。

この結果、部門売上高は244億76百万円(前期比23.5%増)、部門営業利益は40億54百万円(前期比11.7%増)となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

資産、負債及び純資産の状況

・資産

当連結会計年度末における流動資産は、前連結会計年度末に比べ、25億51百万円、3.5%増加して、753億83百万円となりました。売掛金が19億88百万円減少した一方、現金及び預金が23億73百万円、電子記録債権が5億11百万円、棚卸資産が7億82百万円、流動資産のその他が7億98百万円増加したことなどによります。

当連結会計年度末における固定資産は、前連結会計年度末に比べ、2億75百万円、1.4%減少して、192億40百万円となりました。繰延税金資産が1億4百万円増加した一方、建物及び構築物(純額)が3億83百万円減少したことなどによります。

以上により、当連結会計年度末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ22億76百万円、2.5%増加して、946億23百万円となりました。

・負債

当連結会計年度末における流動負債は、前連結会計年度末に比べ、25億69百万円、14.7%減少して、148億88百万円となりました。支払手形及び買掛金が8億46百万円、契約負債が15億78百万円減少したことなどによります。

当連結会計年度末における固定負債は、前連結会計年度末に比べ、56億8百万円、49.9%減少して、56億24百万円となりました。繰延税金負債が8億57百万円、新株予約権の権利行使により転換社債型新株予約権付社債が46億26百万円減少したことなどによります。

以上により、当連結会計年度末における負債合計は、前連結会計年度末に比べ81億78百万円、28.5%減少して、205億12百万円となりました。

・純資産

当連結会計年度末における純資産は、前連結会計年度末に比べ、104億54百万円、16.4%増加して、741億11百万円となりました。新株予約権の権利行使により自己株式を52億90百万円処分したことや、為替が前期末より円安のため為替換算調整勘定が10億62百万円、親会社株主に帰属する当期純利益を72億11百万円計上したことなどにより利益剰余金が41億29百万円増加したことなどによります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)の残高は346億97百万円と、前連結会計年度末に比べ82億96百万円増加しました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

投資有価証券売却益が3億40百万円、棚卸資産の増加額が3億97百万円、仕入債務の減少額が9億23百万円、契約負債の減少額が16億18百万円、法人税等の支払額が44億64百万円となった一方、税金等調整前当期純利益が101億79百万円、減価償却費及びその他の償却費が13億67百万円、売上債権の減少額が17億6百万円発生したことなどにより、差引53億5百万円の資金の増加となりましたが、前連結会計年度に比べ13億51百万円の収入減少となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

定期預金の純増加額が1億44百万円、有形固定資産の取得による支出が8億59百万円、投資有価証券の取得による支出が6億円となった一方、長期預金の払戻による収入が59億10百万円、投資有価証券の売却及び償還による収入が9億27百万円発生したことなどにより、差引51億30百万円の資金の増加となり、前連結会計年度に比べ50億61百万円の支出減少となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

長期借入金の返済による支出が1億46百万円、配当金の支払額が23億54百万円発生したことなどにより、26億円の資金の減少となり、前連結会計年度に比べ4億33百万円の支出減少となりました。

(4) 今後の見通し

当社グループと深く関わる自動車業界では、資源価格や通商問題などへの懸念があるものの、市場環境の急速な変化に対し新型車投入が継続されていることなどにより、車体組立設備において、堅調な投資動向が予想されます。また、同じく当社グループと深く関わるエレクトロニクス業界では、デジタル化の流れが世界的に進行中、エレクトロニクス関連素材において、計画的な設備投資が予想されます。

そのような環境下、当社グループとしましては、業績の向上に鋭意注力すべく、成長市場への経営資源の投入を積極的に推進し、顧客ニーズを満たす製品及びサービスの提供を行ってまいります。また、同時に中長期的かつ持続的な成長を目指す、積極的な設備投資と研究開発を行ってまいります。

この結果、次期の連結業績予想につきましては、売上高545億円(当期比1.3%減)、営業利益90億円(当期比0.2%減)、経常利益96億円(当期比0.9%減)、親会社株主に帰属する当期純利益は、当期に発生した一過性の特別利益4億96百万円の剝落などにより、66億円(当期比8.5%減)を見込んでおります。

なお、為替レートは、1米ドル=149円を前提としております。

(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社の利益配分に関する基本方針は、株主に対する利益還元を経営上の重要政策として認識し、業績の状況、グループを取り巻く環境並びに中長期的な財務体質の強化策を勘案して、配当及び機動的な自己株の取得等を通じ、継続的かつ安定的に実施していく方針です。内部留保に関しましては、戦略的かつ機動的な設備投資・研究開発投資が、持続的な事業発展のためには重要と捉えており、適正水準の内部留保の維持が必要と考えております。

当期の利益配分につきましては、1株当たり期末配当金を90円とし、年間配当金を150円（うち第2四半期末配当60円）とさせていただきます。

なお、次期の利益配当金につきましては、上記の利益配分に関する基本方針等に基づき、1株当たり配当金150円（うち第2四半期末配当60円）を予定しております。

2. 企業集団の状況

当社グループは、当社及び子会社27社で構成されており、溶接機器関連事業及び平面研磨装置関連事業を主な内容として展開しております。

当社グループにおける主な事業内容とグループを構成している各社の当該事業における位置づけ及びセグメントとの関連は、次のとおりであります。

なお、事業区分はセグメント情報の区分と同一の区分であります。

セグメント別の子会社の主要な事業内容及び子会社名

事業区分	内 容	会 社 名
溶接機器関連事業	主に自動車ボディー溶接向けの抵抗溶接機器の製造販売	OBARA(株) 洋光産業(株) OBARA (NANJING) MACHINERY & ELECTRIC CO., LTD. OBARA (SHANGHAI) CO., LTD. OBARA KOREA CORP. A ONE TECH CO., LTD. OBARA (THAILAND) CO., LTD. OBARA (MALAYSIA) SDN. BHD. OBARA INDIA PVT LTD. OBARA CORP. USA OBARA MEXICO, S. DE R. L. DE C. V.
	主に自動車ボディー溶接向けの抵抗溶接機器の販売	OBARA TECNOLOGIAS E PRODUTOS DE SOLDAGEM LTDA. OBARA CORP. LTD. OBARA SAS LLC OBARA RUS OBARA s. r. o.
平面研磨装置関連事業	主にシリコンウェーハ、酸化物水晶向けの平面研磨装置及び消耗品の製造販売	スピードファム(株) スピードファム長野(株) スピードファムクリーンシステム(株) (株)プレテック SPEEDFAM MECHATRONICS (NANJING) LTD. ONSE INC. SPEEDFAM INC. SPEEDFAM (INDIA) PVT LTD. MELCHIORRE S. R. L.
	主にシリコンウェーハ、酸化物水晶向けの平面研磨装置及び消耗品の販売	SPEEDFAM KOREA LTD. SPEEDFAM CORP.

当社グループを事業系統図によって示すと、次のとおりであります。



3. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、IFRS（国際財務報告基準）の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

4. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年9月30日)	当連結会計年度 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	36,829	39,202
受取手形	236	292
電子記録債権	3,882	4,394
売掛金	12,656	10,668
有価証券	42	88
商品及び製品	8,641	7,310
仕掛品	5,410	6,962
原材料及び貯蔵品	3,995	4,557
その他	1,463	2,261
貸倒引当金	△327	△355
流動資産合計	72,831	75,383
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	15,801	16,016
減価償却累計額	△6,408	△7,006
建物及び構築物（純額）	9,393	9,010
機械装置及び運搬具	11,194	11,472
減価償却累計額	△9,182	△9,593
機械装置及び運搬具（純額）	2,012	1,879
土地	3,429	3,534
建設仮勘定	85	274
その他	3,265	3,402
減価償却累計額	△2,475	△2,644
その他（純額）	789	758
有形固定資産合計	15,711	15,457
無形固定資産		
のれん	74	—
その他	468	451
無形固定資産合計	543	451
投資その他の資産		
投資有価証券	1,202	1,155
繰延税金資産	664	769
長期預金	814	818
その他	586	589
貸倒引当金	△7	△1
投資その他の資産合計	3,261	3,331
固定資産合計	19,515	19,240
資産合計	92,347	94,623

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年9月30日)	当連結会計年度 (2023年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,829	3,983
1年内返済予定の長期借入金	139	153
未払法人税等	1,230	1,203
契約負債	8,150	6,572
賞与引当金	1,079	1,048
役員賞与引当金	46	49
その他	1,982	1,878
流動負債合計	17,458	14,888
固定負債		
転換社債型新株予約権付社債	6,030	1,404
長期借入金	572	475
繰延税金負債	3,982	3,124
役員退職慰労引当金	94	29
退職給付に係る負債	323	345
資産除去債務	88	88
その他	141	155
固定負債合計	11,232	5,624
負債合計	28,691	20,512
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,925	1,925
資本剰余金	2	—
利益剰余金	69,897	74,027
自己株式	△17,125	△11,835
株主資本合計	54,699	64,118
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	250	218
為替換算調整勘定	8,636	9,698
その他の包括利益累計額合計	8,886	9,917
非支配株主持分	69	75
純資産合計	63,656	74,111
負債純資産合計	92,347	94,623

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2021年10月1日 至 2022年9月30日)	当連結会計年度 (自 2022年10月1日 至 2023年9月30日)
売上高	50,282	55,209
売上原価	33,464	37,685
売上総利益	16,817	17,524
販売費及び一般管理費	8,319	8,510
営業利益	8,497	9,014
営業外収益		
受取利息	627	596
受取配当金	25	22
為替差益	446	—
補助金収入	69	99
受取地代家賃	38	37
その他	53	152
営業外収益合計	1,261	907
営業外費用		
支払利息	29	25
為替差損	—	151
固定資産除却損	48	47
その他	24	13
営業外費用合計	101	238
経常利益	9,657	9,683
特別利益		
固定資産売却益	—	155
投資有価証券売却益	155	340
特別利益合計	155	496
税金等調整前当期純利益	9,813	10,179
法人税、住民税及び事業税	2,917	3,862
法人税等調整額	690	△908
法人税等合計	3,607	2,953
当期純利益	6,206	7,226
非支配株主に帰属する当期純利益	8	14
親会社株主に帰属する当期純利益	6,197	7,211

連結包括利益計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2021年10月1日 至 2022年9月30日)	当連結会計年度 (自 2022年10月1日 至 2023年9月30日)
当期純利益	6,206	7,226
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△148	△32
為替換算調整勘定	6,288	1,067
その他の包括利益合計	6,140	1,035
包括利益	12,346	8,261
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	12,327	8,242
非支配株主に係る包括利益	18	19

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2021年10月1日 至 2022年9月30日)

(単位：百万円)

	株主資本					その他の包括利益累計額			非支配株主持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	1,925	2	65,450	△16,031	51,346	398	2,357	2,756	70	54,174
当期変動額										
剰余金の配当			△1,750		△1,750					△1,750
親会社株主に帰属する当期純利益			6,197		6,197					6,197
自己株式の取得				△1,094	△1,094					△1,094
自己株式の処分		0		0	0					0
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)						△148	6,278	6,130	△0	6,129
当期変動額合計	—	0	4,447	△1,093	3,353	△148	6,278	6,130	△0	9,482
当期末残高	1,925	2	69,897	△17,125	54,699	250	8,636	8,886	69	63,656

当連結会計年度(自 2022年10月1日 至 2023年9月30日)

(単位：百万円)

	株主資本					その他の包括利益累計額			非支配株主持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	1,925	2	69,897	△17,125	54,699	250	8,636	8,886	69	63,656
当期変動額										
剰余金の配当			△2,358		△2,358					△2,358
親会社株主に帰属する当期純利益			7,211		7,211					7,211
自己株式の取得				△0	△0					△0
自己株式の処分		△725		5,291	4,565					4,565
利益剰余金から資本剰余金への振替		723	△723		—					—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)						△32	1,062	1,030	5	1,036
当期変動額合計	—	△2	4,129	5,290	9,418	△32	1,062	1,030	5	10,454
当期末残高	1,925	—	74,027	△11,835	64,118	218	9,698	9,917	75	74,111

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2021年10月1日 至 2022年9月30日)	当連結会計年度 (自 2022年10月1日 至 2023年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	9,813	10,179
減価償却費及びその他の償却費 のれん償却額	1,325 103	1,367 77
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△162	14
賞与引当金の増減額 (△は減少)	87	△45
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△3	2
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	2	△65
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△258	1
受取利息及び受取配当金	△653	△618
支払利息	29	25
為替差損益 (△は益)	△352	△69
有形固定資産除売却損益 (△は益)	39	△106
投資有価証券売却損益 (△は益)	△155	△340
売上債権の増減額 (△は増加)	973	1,706
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△3,737	△397
仕入債務の増減額 (△は減少)	△420	△923
契約負債の増減額 (△は減少)	2,129	△1,618
その他	88	△265
小計	8,849	8,925
利息及び配当金の受取額	522	868
利息の支払額	△27	△24
法人税等の支払額	△2,687	△4,464
営業活動によるキャッシュ・フロー	6,656	5,305
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の純増減額 (△は増加)	1,906	△144
長期預金の預入による支出	△1,145	△1
長期預金の払戻による収入	743	5,910
有形固定資産の取得による支出	△1,613	△859
有形固定資産の売却による収入	10	18
無形固定資産の取得による支出	△53	△81
投資有価証券の取得による支出	△104	△600
投資有価証券の売却及び償還による収入	332	927
その他	△7	△39
投資活動によるキャッシュ・フロー	68	5,130

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2021年10月1日 至 2022年9月30日)	当連結会計年度 (自 2022年10月1日 至 2023年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△137	△146
転換社債型新株予約権付社債の償還による支出	—	△50
自己株式の取得による支出	△1,094	△0
配当金の支払額	△1,749	△2,354
非支配株主への配当金の支払額	△19	△14
その他	△32	△34
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,033	△2,600
現金及び現金同等物に係る換算差額	2,157	461
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	5,848	8,296
現金及び現金同等物の期首残高	20,553	26,401
現金及び現金同等物の期末残高	26,401	34,697

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の事業構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、主として自動車業界向けの溶接機器関連事業及びエレクトロニクス業界向けの平面研磨装置関連事業の2つの事業から構成されており、各事業単位で、日本及び海外の包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

従って、当社は溶接機器関連事業及び平面研磨装置関連事業の2つを報告セグメントとしております。溶接機器関連事業は、自動車業界向けにガン、電極及び関連機器等の製造・販売を行い、平面研磨装置関連事業はエレクトロニクス業界向けにポリッシングマシン等の製造・販売を行っております。

2 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、最近の有価証券報告書(2022年12月21日提出)により開示を行った「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と概ね同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益の数値であります。

セグメント間の内部売上高又は振替高は、市場実勢価格に基づいております。

3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度(自 2021年10月1日 至 2022年9月30日)

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	連結財務諸表 計上額 (注) 2
	溶接機器 関連事業	平面研磨装置 関連事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	30,470	19,811	50,282	—	50,282
セグメント間の内部 売上高又は振替高	0	2	3	△3	—
計	30,471	19,814	50,285	△3	50,282
セグメント利益	4,914	3,631	8,546	△48	8,497
セグメント資産	53,117	31,973	85,090	7,256	92,347
その他の項目					
減価償却費	576	743	1,320	5	1,325
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	843	941	1,784	1	1,786

(注) 1 (1) セグメント利益の調整額△48百万円には、セグメント間取引消去△3百万円及び報告セグメントに配分していない全社費用△44百万円が含まれております。

(2) セグメント資産のうち調整額の項目に含めた金額は全て全社資産です。

2 セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当連結会計年度(自 2022年10月1日 至 2023年9月30日)

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	連結財務諸表 計上額 (注) 2
	溶接機器 関連事業	平面研磨装置 関連事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	30,737	24,472	55,209	—	55,209
セグメント間の内部 売上高又は振替高	18	4	23	△23	—
計	30,756	24,476	55,233	△23	55,209
セグメント利益	5,051	4,054	9,106	△91	9,014
セグメント資産	46,819	31,414	78,233	16,390	94,623
その他の項目					
減価償却費	636	726	1,362	4	1,367
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	246	527	774	3	777

(注) 1 (1) セグメント利益の調整額△91百万円には、セグメント間取引消去△23百万円及び報告セグメントに配分していない全社費用△68百万円が含まれております。

(2) セグメント資産のうち調整額の項目に含めた金額は全て全社資産です。

2 セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

【関連情報】

前連結会計年度(自 2021年10月1日 至 2022年9月30日)

1 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2 地域ごとの情報

(1) 売上高

(単位：百万円)

日本	中国	韓国	アジア パシフィック	米州	その他	合計
15,440	14,543	4,543	8,804	4,348	2,601	50,282

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

(2) 有形固定資産

(単位：百万円)

日本	中国	韓国	アジア パシフィック	米州	その他	合計
8,774	2,633	2,224	1,142	631	305	15,711

3 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載はありません。

当連結会計年度(自 2022年10月1日 至 2023年9月30日)

1 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2 地域ごとの情報

(1) 売上高

(単位：百万円)

日本	中国	韓国	アジア パシフィック	米州	その他	合計
17,673	15,049	5,373	9,057	5,657	2,398	55,209

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

(2) 有形固定資産

(単位：百万円)

日本	中国	韓国	アジア パシフィック	米州	その他	合計
8,549	2,441	2,356	1,102	665	342	15,457

3 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載はありません。

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

該当事項はありません。

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

前連結会計年度(自 2021年10月1日 至 2022年9月30日)

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額	合計
	溶接機器 関連事業	平面研磨装置 関連事業	計		
当期償却額	—	103	103	—	103
当期末残高	—	74	74	—	74

当連結会計年度(自 2022年10月1日 至 2023年9月30日)

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額	合計
	溶接機器 関連事業	平面研磨装置 関連事業	計		
当期償却額	—	77	77	—	77
当期末残高	—	—	—	—	—

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2021年10月1日 至 2022年9月30日)	当連結会計年度 (自 2022年10月1日 至 2023年9月30日)
1株当たり純資産額	4,044円48銭	4,276円53銭
1株当たり当期純利益	393円20銭	449円27銭
潜在株式調整後1株当たり当期純利益	346円81銭	435円54銭

(注) 1 1株当たり当期純利益及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (自 2021年10月1日 至 2022年9月30日)	当連結会計年度 (自 2022年10月1日 至 2023年9月30日)
1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益(百万円)	6,197	7,211
普通株主に帰属しない金額(百万円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純利益(百万円)	6,197	7,211
普通株式の期中平均株式数(株)	15,761,355	16,051,835
潜在株式調整後1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益調整額(百万円)	△8	△7
(うち受取利息(税額相当額控除後)(百万円))	(△8)	(△7)
普通株式増加数(株)	2,084,056	489,356
(うち転換社債型新株予約権付社債(株))	(2,084,056)	(489,356)
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり 当期純利益の算定に含めなかった潜在株式の概要	—	—

2 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (2022年9月30日)	当連結会計年度 (2023年9月30日)
純資産の部の合計額(百万円)	63,656	74,111
純資産の部の合計額から控除する金額(百万円)	69	75
(うち非支配株主持分(百万円))	(69)	(75)
普通株式に係る期末の純資産額(百万円)	63,586	74,035
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普通株式 の数(株)	15,721,851	17,312,082

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

5. その他

(1) 生産、受注及び販売の状況

①生産実績

当連結会計年度における生産実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	生産高(百万円)	前年同期比(%)
溶接機器関連事業	24,740	△1.4
平面研磨装置関連事業	14,376	△2.0
合計	39,117	△1.6

- (注) 1 セグメント間取引については、相殺消去しております。
2 金額は、販売価格で表示しております。

②受注実績

当連結会計年度における受注実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	受注高(百万円)	前年同期比(%)	受注残高(百万円)	前年同期比(%)
溶接機器関連事業	30,633	△5.2	8,045	△1.3
平面研磨装置関連事業	25,185	△26.6	32,269	+2.3
合計	55,818	△16.2	40,314	+1.5

(注) セグメント間取引については、相殺消去しております。

③販売実績

当連結会計年度における販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	販売高(百万円)	前年同期比(%)
溶接機器関連事業	30,737	+0.9
平面研磨装置関連事業	24,472	+23.5
合計	55,209	+9.8

(注) セグメント間取引については、相殺消去しております。

(2) 地域別販売状況

(単位：百万円)

	日本	アジア パシフィック	米州	その他	計	調整額	連結損益 計算書 計上額 (注)
売上高							
外部顧客への売上高	20,688	27,203	5,522	1,795	55,209	—	55,209
セグメント間の内部 売上高又は振替高	3,042	1,962	24	72	5,100	△5,100	—
計	23,730	29,165	5,546	1,868	60,310	△5,100	55,209
セグメント利益	3,439	4,713	762	202	9,118	△103	9,014

(注) セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。